

何を書けばよいのか

論述問題の答え方

論述問題の答え方

「～について述べよ／論じなさい。」

問われていること

出題者が答案に求めるもの（評価基準）

- 授業担当者が講義で説明したことを理解しているか
- 授業で説明した言葉（用語）・概念・考え方を新しい知識・理解として吸収できているか
- 他人に教えるつもりで、自分で説明できるか

論述問題の答え方

「～について述べよ／論じなさい。」

“あらら...”の答案例

- 問われているポイントがズレている。
- 授業で紹介した用語・概念が使われていない。
- 「たとえば...」と、すべて具体例で説明してしまう。
- 授業での説明内容にはふれず、いきなり自分の見解・意見(だけ)を述べる。
- 体言止め、箇条書きだけで書かれている。

論述問題の答え方

「～について述べよ／論じなさい。」

まずは、最初のチェックポイント

- 何についてきかれているのか。(ピントを合わせる)
- 尋ねられているのは、何についてか、どういうことについてか。
- 尋ねられていないことは何か。
- 全15回のなかの、90分のなかの、どの部分について答えればよいのか。

授業の受け方、講義の聞き方



① 講義を“ストーリー”として聞いているか。

- 何がどうして、どうなって、それからどうした...

② 90分間の講義全体の“構成”を意識しながら聞いているか。

- どのような項目で構成されているか
- 今回のテーマ全体のなかで、いま説明中のトピックはどの部分に当たるのか
- 前の項目といまの項目はどうつながるのか（話の論理的な筋道・展開）

授業の受け方、講義の聞き方



③ 講義内容をもう一度、自分で説明できるか。

- 授業で説明された言葉(用語)・概念・考え方を使いながら
- 他人(中学生ぐらい?)に教えるつもりで

授業の受け方、講義の聞き方



「社会統制力」「再生産」「秩序再編」...

●「難しい言葉が多くて理解できません...」



●言葉の意味を自分で調べてみる

●授業後に質問して解決する

→ BBSも使える